

令和4年度日本NP学会総会

- ・日時 令和4年11月12日(土) 13:30~13:50
- ・場所 藤田医科大学 ホール2000
- ・正会員数 719名
- ・議長 福永理事長
- ・議事録署名人 石川理事

・開会

塚本副理事長より、本学会会則17条第2項の規定に基づき、定足数満たす委任状136名、および現地参加者がいることが確認され、総会が成立したことが報告された。

1. 理事長挨拶

福永理事長より、コロナ第7・8波の合間に、学会・総会が無事開催されたことへの謝辞と、学会参加者が増加し、本総会での議案でもある地方会構想を理事会で続けてきたことを説明し、今後の学会の発展について抱負を述べられた。

2. 議事概要

(1) 令和3年度日本NP学会事業報告及び決算について

- ・事業報告については事前配布の資料参照の上として、口頭での報告は省略した。
- ・決算報告について五十嵐会計担当理事から説明があり、3名の監事からの監査についても問題無く終了したことが報告された。

上記どちらも参加者から異議は無く、承認された。

(2) 地方会構想および会費変更に伴う会則等変更案について

酒井理事より、会場にて資料を投影の上、本件に関する説明がなされた。

<要旨>

・NP資格認定者数が年々増加し、現在の地方4ブロック活動に際し、以下の課題があることがブロック長による会議で判明した
→公印・規約・会費・研究会承認基準など

・上記課題から、在籍しているNP資格者の分布を元に4ブロックを7つの地方(北海道/東北/関東/中部/関西/中国・四国/九州)に分け、新たに「日本NP学会 ●●地方会」とする

- ・地方会に際する変更点は次の通りとする。
1) 現在の学会理事より、地方会長を選出する。

- 2) 地方会長に選出される理事の負担から、学術活動推進委員会の委員を再編し、7つの地方会から意見が反映されるよう、各1名選出されるようにする。
- 3) 地方会予算は学会より地方へ分配する。そのほか学会の活動予算のため、学会正会員会費を5,000円→10,000円へ変更する。この際、会則実施細則第2条の変更が必要なことから、9月7日に開催された第2回理事会にて承認となった。
- 4) 理事選挙に関する規定は2023年4月以降より作成し、2024年の学会役員交代時期に初選挙が実施できる状態とする。

その他、今後も制定事項など引き続き地方会長となる理事を中心に検討事項が多いこと、また立ち上げ時の混乱を避けることを理由に、今回2023年4月以降の体制は現理事メンバーから選出したことが酒井理事より説明された。

福永理事長より、本件に関わる内容で以下の点について承認が求められた。

・学会会則第20条の「地方研究会」表記を削除し、新たに第21条を地方会設置の明記した条文を設け、以降の条文番号をずらすことについて

上記について、会則変更や地方会構想を否定する意見は無く承認となった。
なお会員より以下の質問、要望が上がった。

- ①地方会理事の選び方に選挙が無いこと
- ②会員への意見を拾う機会が少なかったこと、周知が総会のこの場であったこと

福永理事長、酒井理事より2) および4) の事項について再度説明があり、今回の体制については立上げ時の混乱を避けるためであることへの理解を求め、今後の選挙制度構築など、指摘された内容に対応していくことが伝えられ、質問者からも地方会構想や規定の整備を期待する旨の返答がなされた。

3. 報告

(1) ブロック活動について

事前共有された資料に基づくため、参照の上省略された。

(2) 2023年度第9回日本NP学会学術集会について

樋口秋緒大会長より、開催概要については会期中に改めて報告の場が設けられることが伝えられ、大会テーマと日程のみに留められた。

テーマ **Healthcare Crisis** セーフティネットとしての高度実践看護

大会長 樋口秋緒 (恵み野訪問看護ステーション「はあと」)

会期 2023年10月20日(金)～22日(日)

会場 札幌市 アスティ45※

※会場は総会以降上記に変更された

(3)学術協力団体申請への協力

山口理事より掲題の内容について会員への協力が求められた。

(4)研究助成金について

塚本副理事長より、資料に掲載の研究助成金制度について説明がなされた。

5. 閉会

福永理事長より議事進行の協力を謝辞が述べられ、閉会となった。

以上を議事録とする。

令和4年11月12日

議事録署名人

議長 福永ヒトミ

印

理事 石川ちさと

印

資料1 : 令和3年度日本NP学会事業報告、会計報告、監査報告

資料2 : 地方会構想

資料3 : 会則変更など案他

資料4 : ブロック活動

資料5 : 第9回日本NP学会学術集会について

資料6 : 学術協力団体申請への協力

資料7 : 研究助成金について